

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

開会年月日時刻	令和5年6月29日（木） 午後3時30分
閉会年月日時刻	令和5年6月29日（木） 午後4時48分
会議の場所	館林市文化会館 3号室

会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 協議・調整事項
  - ・公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題への対応について
- 4 その他
- 5 閉会

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>出席者</p>	<p>館林市長 館林市教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員</p> <p>多 田 善 洋 川 島 健 治 堀 口 哲 哉 木 戸 浩 之 栗 原 昇 金 子 千 秋</p>
<p>説明等の ため出席 した者</p>	<p>(事務局) 政策企画部長 教育次長 秘書課長 企画課長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 学校教育課長 教育総務課 総括係長 書記</p> <p>戸 叶 俊 文 始 澤 勝 也 新 井 孝 行 田 口 真 樹 木 村 和 好 廣 澤 篤 行 井 戸 健 二 折 原 嘉 和 横 山 瑠璃子</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

教育総務課長

定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回館林市総合教育会議を開催いたします。

(午後3時30分)

それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。はじめに、会議の招集者であります多田市長よりご挨拶をお願いいたします。

市長

皆さんこんにちは。本日は教育長をはじめ、教育委員の皆様、お忙しい中お集りをいただきまして、心より感謝を申し上げます。

本日の議題は、昨年度もご協議いただきました『公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題』に関し、その対応について取り上げさせていただきました。後ほど説明がございしますが、今年度の新小学1年生の数は526名であり、20年前から右肩下がりの状況が続いております。また、6年後の令和11年度は20年前の半数以下となる見込みでございます。こうした中、本市においては公立幼稚園のこども園化を進めており、今年度は北こども園と東こども園を開設しました。今後も順次、こども園化を進め、子育て支援に取り組んでまいります。また、人口減少問題に関して、市内での情報共有や連携を図り、施策立案を行うため、今年度より「人口減少対策プロジェクトチーム」を立ち上げております。

こうした様々な状況を踏まえまして、先進的な取組などの情報を共有しながら、今後取り組むべき方向性を見出してまいりたいと考えております。教育委員会におかれましては、施設の老朽化や学校運営など、様々な課題に日々直面しているかと存じますが、皆様には地域の「宝」である子どもたちのことを第一に考え、最適な学習環境の整備が図られるよう、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、この総合教育会議は、市長と教育委員会とが情報の共有を図り、意見を交わす大切な機会でございます。本日の会議が実りあるものとなるよう皆様のご協力をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

教育総務課長

ありがとうございました。続きまして、会議に入らせていただきます。ここからは、館林市総合教育会議運営要綱第3条の規定に従いまして、多田市長に議長を務めていただきます。よろしくお願いいたします。

市長

それでは、これより議長を務めさせていただきます。お手元の次第をご覧くださいと思います。3 協議・調整事項に入ります。

「公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題への対応について」を議題とします。こちらにつきまして、協議・調整事項とした理由を教育委員会事務局からお願いいたします。

教育次長

教育次長の始澤です。今回、公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題への対応について、協議・調整事項とした理由を申し上げます。昨年度の総合教育会議では、議題の一つとして「公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題について」をご協議いただきました。この中で、学校施設の老朽化や小規模特認校の現状、学校規模適正化等についてご説明させていただき、皆様より少子化に伴う1学年1学級化や、少人数クラスの弊害に対する懸念などについて、ご意見として頂戴いたしました。また、今後の検討課題として、学校規模適正化に関する見直し、具体的には学区再編と合わせて義務教育学校の導入などについてご意見を頂戴いたしました。このようなご意見を踏まえ、前回会議の結論といたしまして、先進的な取組を進めている他市の状況などを材料に、継続して協議することでまとまった次第でございます。

以上により、本日は皆様にこうした課題への対応として、学校の老朽化や規模適正化などについて先進的に進めている自治体の事例をご紹介させていただいた上で、本市教育行政の今後についてご協議いただくため、議題とさせていただきました。以上でございます。

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

市長	ありがとうございました。次に、関連する資料が用意されていますので、事務局より説明をお願いいたします。
学校教育課長 教育総務課長	「公立学校の老朽化と児童生徒数の現状・課題への対応について」 (別紙資料に基づき説明)
市長	ありがとうございました。それでは、これよりご質問やご意見を伺いたいと思います。
栗原委員	よろしいでしょうか。
市長	栗原委員、お願いします。
栗原委員	学校規模の適正化が目の前に迫っているというお話がありました。児童生徒数の現状と課題について、行政だけでなく広く市民に知っていただくことが大切かと思います。今までに児童生徒数の実態について、広報紙等で周知したことはあるのでしょうか。また、今後周知する予定はあるかをお聞かせ願えればと思います。
教育総務課長	ご提案いただいた広報紙等での周知につきまして、恐らくこれまでは行っていないと思います。今後につきまして、これほどの情報を正確に知っていただくとなると、広報紙では紙面が制約されてしまうためなかなか難しいかと思います。今後、基本方針等の策定を行う前段階などで、例えば保護者や関係者を含めた一般市民を無作為抽出して市民アンケートを取るという方法があります。そういった中で現状を提示して回答又はご意見をいただき、検討委員会を立ち上げながら、具体的な回答を集約したものを議論の土台にしていければと考えております。

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>栗原委員</p>	<p>広報紙に掲載するタイミング等もあると思います。ただ、市民にいつか広く知っていただくことは大切かと思しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、金子委員お願ひします。</p>
<p>金子委員</p>	<p>学校の老朽化についてお聞きします。前回会議の際、メンテナンスを加えていけば耐久年数は維持されていくというお話がありました。昨年度、中学校で漏水があったとお聞きしましたが、そのメンテナンスが半年ほど先送りになっていると思われまひます。</p> <p>漏水の場合はどんどん浸水していきますので対応の早さを求めたいということと、これからそのようなメンテナンスを加えていかなければならない箇所がどの程度あるか教えていただければと思ひます。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>前回会議の中では、写真などでお示ししていたと思ひます。漏水対策について、具体的には今年度、第八小学校の改修工事を行います。鉄筋が見えている状態を修復して塗装を行う予定でござひます。業者も決定し、発注もしております。早めに行いたいと思ひますが、多額の前算を費やすためその確保や準備も必要となります。第八小の場合、塗装を行いますのでコンクリート内部の浸水は防げると考えております。また、第三中学校でも防水改修工事を実施します。そういった改修を行うことにより、目に見えた漏水は防げると考えております。</p> <p>もう1点、学校の高所にある雨樋に土や木の枝、葉っぱ等がかなり溜まってしまった箇所がありますので、今年はそのようなものの清掃を行います。雨樋を清掃していけば、溢れた水が行き場を失って流れ、建物内に染み込むことを防げまひますので、そのような工事も実施していきます。</p> <p>そのほかにも、施設の建築から年数が経っており、状況に応じて防水</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>工事を随時実施してまいりますので、そういった形でご理解をいただきたいと思ひます。</p>
<p>金子委員</p>	<p>わかりました。これから台風シーズンに突入していきますのでできるだけ迅速に、時間を置かないようお願いいたします。学校には高い樹木が多いので雨樋に落ち葉が溜まってしまっていると思ひます。掃除も大切ですが、木を伐採するといった環境整備の方法もありますので、その辺りも検討していただければと思ひます。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>おっしゃるとおり、どうしても毎年葉が落ちてしまうので、高い所まで育ってしまった木は可能な限り伐採していきたくと思ひます。特に、建物に近接しているものを優先的に伐採・剪定をしていきたくと思ひます。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、木戸委員お願いします。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>他市の先進事例等を説明していただきました。一つの例として、桐生市の事例を現在の適正規模を考える基準に照らし合わせた場合、現状の館林市はどのような状況でしょうか。全体ですと小学校で10人以上、1学年においては2学級以上が基準ですが、それを下回った場合、そういった小中学校がどれだけあるかということ、館林市は現状でどのようなことをやっておかなければならないかということ、例えば審議会を立ち上げたり、基本方針を策定したり、そういったものが必要なかをお示ししていただければと思ひます。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>桐生市の基本方針を確認しますと、審議会を立ち上げ、いわゆる諮問をいただいて、そこから答申という流れがあります。ここまでにおおむね1年を要しているようでございます。その後、教育委員会で審議を経て基本方針を作っていくという事例でございます。本市の状況でございますが、館林市では基本方針を策定しておりませ</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>るので、これからが出発点になると考えております。本日の総合教育会議の中でご協議いただいている段階ですので、桐生市と比較するとまだまだ準備段階、検討段階と認識しております。以上でございます。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>人口減少に関して広報の話でも出てきましたが、桐生市ではまずアンケートを実施して、市民がどのように考えているかという点を制度も含めてしっかり把握して、基本方針を立ち上げる上での参考としているようでした。まずはそこからかなと感じました。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>やはり事前にアンケートを取り、民意を把握しながら研究を重ねていくべきだと考えておりますので、そのような形で検討してまいりたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、堀口委員お願いします。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>2点質問させていただきます。1点目は今の質問にも関連することです。アンケートを広く取るのも良いことだと思いますが、まずは当該小中学校に通っておられる保護者を対象に、学区内で学校の適正規模というものを必要としているかどうか、というところのアンケートが必要なのではないかと思います。</p> <p>もう1点、金子委員から建物の改修や予算の話がありましたが、今後改修を進めていく上での試算があるのかという点です。当然、不備があれば直さなくてはならないことは重々理解していますが、その状態が永遠に続くとなるとやはりどうかと思いますので、その辺りの考えをお聞かせいただきたいと思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>2つご質問いただきました。まず、小中学校の保護者を対象にしたアンケート等が必要だというご意見ですが、おっしゃるとおりでございます。市民アンケートの中で現状考えているのが、関係者や当事者、つまり保護者の方からいただくということと、先ほど栗原委員からも</p>



令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

お話がありましたが広く民意を聞くということ、この2つの側面を取っていく必要があると考えております。まだ具体的に検討は進んでおりませんが、今後更に詳細な検討を進め、あらゆる層のご意見をアンケートで取っていきたいと考えております。

もう1つ、今後の改修試算があるかというご質問をいただきました。市では公共施設等総合管理計画というものを策定しております。これは公共施設等の全体の状況を把握して、計画的に更新や大規模修繕などを実施するために維持管理の基本的な方針を定めているものです。この方針に基づき、個別施設ごとの方向性について個別施設計画というものを策定しております。さらには、おおむねの費用や実施時期も見込みですが実行計画というもので定めております。実行計画はありますが、例えば校舎の老朽化対応工事などにつきましては、国からの補助金などをなるべく活用しながら進めましょうということがありますので、国の補助金が付くか付かないか、そういった状況を踏まえながら進めております。また、突発的な緊急工事が発生する場合がありますので、こちらは第一優先でやらなければなりません。

そういった点から、なかなか計画どおりに進んでいないのが現状でございます。随時計画、また現状との見直しを行いながら進めていくというのが命題と認識しております。個別具体にお知らせするのが難しい状況ですので、ご理解いただきたいと思います。

市長

次に、栗原委員お願いします。

栗原委員

先ほど話題に出た学校規模の適正配置等の審議会ですが、市P連や区長協議会など、そういった方たちにご意見をいただきながら立ち上げるのも良いのではないのでしょうか。立ち上げて、議論して、そして何年か後となると長いスパンがかかると思いますが、そういったステップを踏むのが良いと感じています。その先には、やはり館林市の子どもたちをどう育てていくかという視点が必要かと思えます。

義務教育学校や小中一貫校のメリットを知って、館林市民が「子ども

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>たちを通わせてみようかな」と思えるような形が具体化されると良いのではないのでしょうか。昭和村では3校の小学校が1つになって、小中一貫校になるという話があるようですが、それでも開校は3年後ということなので、丁寧な審議と方針が必要かと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>将来的にいろいろな課題があると認識しておりますが、例えば義務教育学校は先ほどの学校規模適正化の手法の一つだと認識しております。単純に学校を統合する場合もあれば、義務教育学校として統合する方法もございますので、メリットやデメリットはあると思います。そういったものも皆さんにお示ししながら、検討・協議をしていきたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、金子委員お願いします。</p>
<p>金子委員</p>	<p>学校規模適正化というお話が先ほどからありますが、気になるのは小規模特認校です。学校の存続はどのように考えているのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>冒頭で小規模特認校の特徴について資料を基に概要を申し上げましたが、今後、市の適正化の流れを見据えながら、小規模特認校としての役割を平行して考えていく必要があると考えております。現状では第四小学校が小規模特認校となっておりますので、その良さを引き続き生かしてまいりたいと考えております。</p>
<p>金子委員</p>	<p>小さな学校でしっかりと向き合って学校生活を送っていききたいという子どももいると思います。全て人数割に当てはまるように進めるばかりではなく、小規模特認校やそれを求めている児童生徒たちの気持ちも汲めるような進め方をしていただきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、木戸委員お願いします。</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

木戸委員	これだけ児童生徒数が減少している中で、不登校の児童生徒というのはコロナ禍が収まった段階でも増え続けているという現状があります。先ほどお話がありましたように、そういった児童生徒のためにも小規模特認校というものを維持しながら、これは学校を残すのか、別に新しく作るのかということはまた別の話として、機能を残した状態で話を進めていければと思います。
市長	次に、堀口委員をお願いします。
堀口委員	私も金子委員に近い意見ですが、今年の小学校の新入学生数等を考えますと多くの学校が単学級になっているのではないかと思います。そういった面でも現状からしてもあまり猶予がないという気がします。そういった面でどのようなタイミングで学校規模適正化というものを進めていくのか、指針等があれば教えていただきたいです。
教育総務課長	先ほど資料でお示ししたとおり進んできているのは一つですが、各市の置かれている状況がそれぞれ違うからだと認識しております。昨年の会議でも施設の老朽化や児童生徒数の減少というものをお示ししております。四小で小規模特認校を実施しておりますが、その制度を上回ってしまうような現象が起きている状況でございます。そういった面も踏まえて議論を進める必要があると思います。小学校ですと地域の核という部分もありますので、慎重に進めなくてはならないのですが、児童生徒の減少は止まらず進行する一方ですから、それを踏まえての検討になるかと思います。 具体的に申し上げますと、来年度以降にご質問のあったアンケート調査で更にもう一步踏み込んだ先進事例を深掘り・考察していくというような内容で、具体的、かつ専門的に検討していただく審議会の設置などについて議論が始められるような準備を進めていきたいと考えております。

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

堀口委員	ありがとうございます。前向きなお話が聞けたので良かったと思います。
市長	次に、木戸委員お願いします。
木戸委員	参考資料の中にプールの事例が出ていましたが、本市におけるプール老朽化の具体的な状況や、資料にある稼働率のようなものを把握していれば数字を教えていただければと思います。
教育総務課長	先に、老朽化の状況について私からお答えいたします。ほとんどの学校プールは学校の建設当初に行った工事で建てられたものが多いです。長いものと40年から50年近く経過しているようなものが多くあります。こういったプールにつきましては、現在までに防水となる下地塗装やろ過器等の交換を随時行っており、今年も第二中学校のプール塗装を行います。そういったメンテナンスをこまめにやっていきますと、躯体が傷まない段階で修繕をかけることができます。躯体が痛んだ段階ですと、事例にありますように大規模修繕や作り替えが必要となってしまいますので、そうならないように防水工事や塗装を行っている状況でございます。私の方からは以上です。
学校教育課長	委員から稼働率というご質問をいただきました。参考資料にある下妻市では恐らく独自に稼働率を定めていると推測され、2学級同時授業、あるいは11時間の水泳授業といったところからの算出かと思います。本市だけでなく全国的にもそうだと思いますが、コロナ禍以前は2学級、状況によっては3学級で合同授業も行っていたのですが、コロナ禍以降は密を避ける感染予防という点から1学級ごとに行っているのが現状です。このような現状もあり、例にあるような稼働率というものを本市では算出しておりません。 参考に、令和4年度にプールを使用した授業実数を申し上げます。小

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>学校1学級当たりの市内平均時間数となりますが、各学年約7時間から9時間弱の水泳指導を行っております。中学校に関しましては、小学校よりやや多く10時間前後の指導時間となっております。学習指導要領にそれぞれの学年の目標等がございますので、目標の達成に向けて時間内で感染予防を第一に考えながら取り組んだ現状でございます。以上です。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>実際にプールの老朽化がどの程度進んでいて、民間委託や共同利用の必要性があるかどうかというのはわかりませんが、その辺りを本市として、先ほどお金がかかるというお話もありましたが、検討することも一つかと思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、金子委員をお願いします。</p>
<p>金子委員</p>	<p>プールの合同授業に関連して、例えば小学校と中学校が隣接している場合、規格や水深の問題があると思いますが、小学生が中学校のプールを使えるのでしょうか。また、中学生は小学校のプールで授業ができるのでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>先ほど例に挙げた下妻市では小学校同士で行っていると思います。恐らく基準等があり、例えば深さもその一つだと思いますが、児童が中学校のプールを使うとなると非常に深く危険かと思われます。詳細な基準は把握しておりませんが、そういったものがあるのではないかと考えております。そのため、小学校と中学校ではなく小学校同士が好ましいとは思いますが、プールの集約化につきましては、先ほどの学校統合の考え方とリンクしてまいりますので、プールを統合するのが先か、学校そのものを統合するのかという大きな選択肢になってくると思います。今回は一つの事例としてお示ししておりますので、議論の中でプールに偏る場合もあるかと思いますが、今後そういったご協議をしていただければと思っております。</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

<p>市長</p>	<p>次に、栗原委員お願いします。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>施設の老朽化について質問します。建替えとなると莫大な予算がかかると思っています。現状、体育館なども建て替えていただいて何とか長寿命化を図っていると思っていますが、差し迫って建替えをする予定等がありますか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>プールに限っては現時点ではないものと認識しております。先ほど申し上げましたように、防水等の塗装修繕により大きな破損などはございませんので、現状使えるものと認識しております。 校舎につきましても同様に、以前に耐震化工事を実施しております。ある程度修繕をかけているところもございますので、今の時点で老朽化により早急に対策が必要なものは無いという認識でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>次に、木戸委員お願いします。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>参考としている志木市の中に、社会教育施設と学校を融合して独自のカリキュラムにより学習内容や活動の幅を広げるといった記述があります。公立学校ではどうかと思いますが、例えばほかの近隣地域にない独自の授業内容を進めることによって、最終的に近隣からの移住人口が増えるといった教育方法などはあるのでしょうか。事例があれば教えていただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>先ほど説明させていただきましたが、現状、公立の中では近隣市町の学区を超えて受け入れるという事例は認識しておりません。やはり学区制といったものがございますので、それぞれの教育課程の中での特色を持たせながら指導・育成に励んでおります。もちろん、私立学校はまた別となります。中学校になりますと中高一貫という大きな枠組になりますが、近隣の中でもそういった中高一貫校や中等教育学校に</p>

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

市長

については、群馬県の中でも見られる現状でございます。

次に、川島教育長をお願いします。

教育長

教育委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。先ほど資料説明のあった順にお話をさせていただきたいと思っております。

まず、校舎等の老朽化の問題ですが、お話にありましたように少しずつ漏水工事や耐震工事などを行いながら、長寿命化に向け、公共施設管理計画に基づき大規模工事や建替えとならないように動いています。また、国からの補助金にも限りがありますので、優先順位をつけて動いていくというのが現状だと思っております。

また、プールについてのお話がありました。共用や民間プールの使用というところで、例えばある小学校でプールがどうしても使えず、近くにある民間プールへそれほど時間がかからず歩いて行ける距離であればそういったことも考えられるかもしれませんが、現実問題として考えたときに、やはり安全面を考えるとバス利用ということになってくると思っております。これには移動時間など、多々難しい面もあると思っております。教育総務課長が話したように、大規模修繕をしないで済むように少しずつ手直ししていくことが現実的かと感じております。館林市の場合、公共施設との併用という点では公民館が小学校区ごとに1館ずつあります。公民館にも管理計画があるのですが、かなり老朽化が進んでいてそちらの修繕も毎年大なり小なりかかっている状況であります。また、これを小学校と合わせて併設又は小学校の中に公民館施設を入れるとなると、例えば公民館ではカラオケなどもやっておりますので、音の問題など難しい面も出てくるかもしれません。検討課題にはなりますが、今後そういったことも検討せざるを得ない時期が来るのかもしれないと思っております。

それから、適正規模・適正配置に関する基本方針について、非常に重要で大きな課題ではありますが、だからといって先延ばしにするので

令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

はなく、スピード感を持ちながらも慎重かつ丁寧に前へ進めていくことが必要だと、改めて皆さんのご意見をお聞きして感じました。審議会の設置や市民アンケートなど、そういったことが進み、審議会から1年ほどかけて答申を出していただき、教育委員会で策定していくといった形になっていくのではないかと感じております。

堀口委員がおっしゃったように、当該学校の子どもたちやその保護者の方、また、現在幼稚園・保育園等に通っているお子さんの保護者の方のご意見を聞くといったことも、大変貴重で重要な意見になってくると思っております。前回、金子委員から、お子さんの学校で1人や2人転入生が来て単学級ではなく2学級になることを切に願っていたという、保護者としての気持ちがとても込もったご意見をいただきました。そういったこともありますので、就学前のお子様を持つ保護者の方のご意見なども尊重していければとも思っております。

そして、今後議論を深めながら先進事例を更に示していただき、適正規模・適正配置に係る基本方針の策定に向けて進めていくことができればと感じています。

市長

教育長のお話のとおり、皆さんから大変貴重なご意見をいただいたと感じております。前回金子委員がおっしゃった、単学級ではなく2学級になることを願っていたというお話も記憶に残っております。様々な環境を考えると、子どもたちのことを中心に考えて今後の方向性を見出さなくてはなりません。冒頭挨拶の中でお話ししたとおり、少子化が加速度的に進んでおり、令和11年度には20年前の半数以下になると予想されます。今後の方向性については速やかに示さなければならぬと感じておりますが、非常に重要で難しい課題でもあり、丁寧に扱う必要があると思っております。

アンケート調査や審議会設置、義務教育学校等についてもご意見をいただきましたが、しっかりとした理念の下で運営されることで、子どもたちの教育にも大きなメリットがあろうかと思えますし、通学区域の見直しなども検討の余地があろうかと思えます。館林市では昨年度



令和5年度第1回館林市総合教育会議議事録

	<p>から問題提起をしていますが、早いかどうかは別として、検討の段階では県内他市と比べて遅れていると感じていますので、先進的な各市の取組について更に深く把握する必要があると考えています。</p> <p>こうした様々な角度から研究・検討を進め、関係各位のご意見をいただきながら、学校規模・配置の適正化に関する方針等について、より踏み込んで協議することが重要だと思いますが、いかがでしょうか。次回も引き続き協議するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
市長	<p>ないようですので、この議題については以上とさせていただきたいと思えます。次回も引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>これをもちまして議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
教育総務課長	<p>長時間にわたり、大変ありがとうございました。</p> <p>次第に、4 その他とございます。何かこの場でお話ししておきたいことがある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(委員等から「なし」の声あり)</p>
教育総務課長	<p>それでは以上をもちまして、総合教育会議の全日程を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(午後4時48分)</p>